## 【**人SBEE® 熊本**《新築》【性能表示】

1-1 建物概要				1-2 外観
建物名称	(仮称)熊本市中央区上通町計画新	階数	地上13階	
建設地	熊本市中央区上通町11番4、11、37、	構造	RC造	
用途地域等	商業	平均居住人員	328 人	
省エネ:地域区分	7地域	年間使用時間	8,760 時間/年	
建物用途	集合住宅,	評価の段階	実施設計段階評価	
竣工時期	2028年3月 予定	評価の実施日	2025年3月1日	
敷地面積	1,922 m <sup>2</sup>	作成者	稲田 太	
建築面積	1,184 <b>m</b> ỉ	確認日	2025年3月1日	
延床面積	13,163 m <sup>2</sup>	確認者		

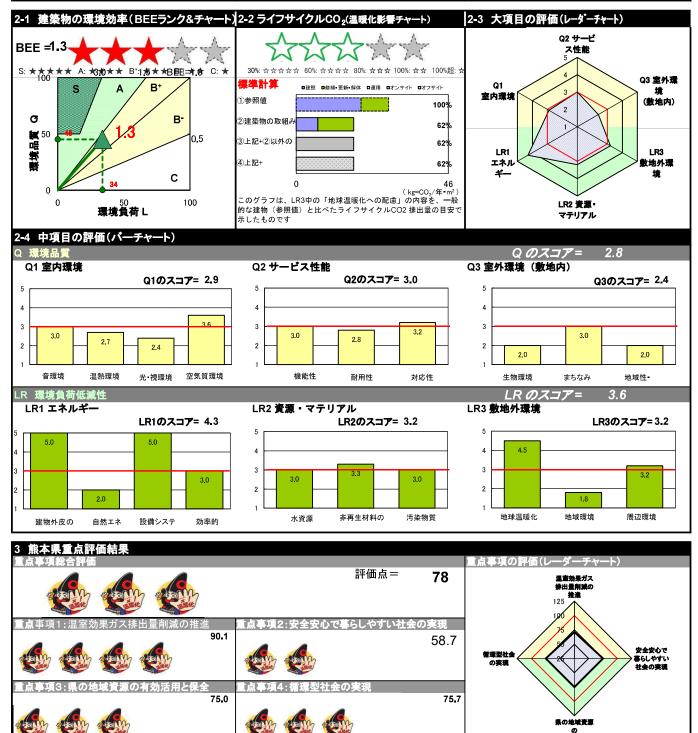
### 2 CASBEE評価結果



3 熊本県重点評価結果			
■ 重点事項総合評価			評価点
			78
	評価点	■熊本県重点評価基準	
【重点事項1】 温室効果ガス排出量削減の推進	90.1	判定値(評価点)	ランク表示
   【重点事項2】 安全安心で暮らしやすい社会の実現	58.7	100点以上	66666
	30.7	80点以上100点未満	6666
【重点事項3】 県の地域資源の有効活用と保全	75.0	60点以上80点未満	<b>&amp; </b>
  【重点事項4】 循環型社会の実現	75.7	40点以上60点未満	<b>&amp;                                    </b>
		40点未満	٠
		※評価点は、100点以	上が推奨です。

# CASBEE<sup>®</sup>-建築(新築) ■ 評価結果 ■ EgenEmetric CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v3.0)

1-1 建物概要				1-2 外観
建物名称	(仮称)熊本市中央区上通町計画新	階数	地上13階	
建設地	熊本市中央区上通町11番4、11、37、	構造	RC造	
用途地域等	商業	平均居住人員	328 人	
省エネ∶地域区分	7地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)	
建物用途	集合住宅,	評価の段階	実施設計段階評価	
竣工時期	2028年3月 予定	評価の実施日	2025年3月1日	
敷地面積	1,922 m <sup>*</sup>	作成者	稲田 太	
建築面積	1,184 m <sup>*</sup>	確認日	2025年3月1日	
延床面積	13,163 m <sup>2</sup>	確認者		



■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率) ■「ライフサイクルCo」」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃業に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと ■評価対象のライフサイクルCO2排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される ■LCCO2の算定条件等については、「LCCO2算定条件シート」を参照されたい

有効活用と得会

ASBEE-建築(新築)2016年版 <u>スガ<i>に江戸スネットキーに行行(う、と</i>く、第</u> コアシート 実施設計段階	評価点が3起の項目    ⇒Q1~Q3シートやLR1~LR3シートにおける近	<u>最高の根拠に</u>	<u>做って、</u> 要	<u>旨を記入</u> し	てください	
慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み 係数	評価点	重み 係数	全体
建築物の環境品質 室内環境 主内環境			0.40		-	2.8
1 <b>音環境</b> 1.1 室内騒音レベル 1.2 遮音		3.0 3.0 3.0	0.15 0.50 0.50	3.1 3.0 3.2	1.00 0.50 0.50	3.0
1         開口部遮音性能           2         界壁遮音性能		3.0	1.00	3.0	0.30	
2         分里進音性能           3         界床遮音性能(軽量衝撃源)           4         界床遮音性能(重量衝撃源)	二重床遮音性能:ΔLL(Ⅱ)-4	3.0 3.0	÷	4.0 3.0	0.20	
1.3 吸音 2 温熱環境		-	0.35	3.0	1.00	2.7
21 室温制御 1 室温		1.0 1.0	0.71	3.7	0.71	2.17
2         外皮性能           3         ゾーン別制御性	住宅性能評価、断熱等性能等級:等級5	1.0	0.38	5.0	0.38	
2.2 湿度制御 2.3 空調方式		1.0	0.29	3.0	0.29	
3 光-視環境 3.1 昼光利用		1.7	0.25	2.8 2.4	1.00	2.4
1         昼光率           2         方位別開口		1.0	0.60	3.0 1.0	0.50	
3         昼光利用設備           32         グレア対策		3.0 1.0	0.40 0.40	3.0	0.20	
1 <u>显光制御</u> 3.3 照度		1.0	1.00	3.0 3.0	1.00 0.15	
3.4 照明制御		3.6	0.25	3.0 3.6	0.15	3.6
全気質環境           4.1 発生源対策           1         化学汚染物質	F☆☆☆☆を使用	4.0	0.60	4.0	0.63	5.0
42 换気 1 换気量		3.0 3.0	0.40	3.0 3.0	0.38	
2 自然換気性能		3.0	-	3.0	0.33	
3 取り入れ外気への配慮 4.3 運用管理		3.0	0.50	3.0	0.33	
1         CO2の監視           2         喫煙の制御		-		-	-	
! サービス性能 1_機能性		3.0	0.30	- 3.0	1.00	3.0
1.1 機能性         使いやすさ           1         広さ         収納性		3.0 3.0	0.40	3.0 3.0	0.60	
2         高度情報通信設備対応           3         バリアフリー計画		3.0 3.0	- 1.00	3.0	1.00	
1.2 心理性 快適性 1 広さ感 景観		3.0 1.0	0.30	3.0 3.0	0.40 0.50	
2         リフレッシュスペース           3         内装計画		- 3.0	- 1.00	- 3.0	- 0.50	
1.3 維持管理           1 維持管理に配慮した設計		3.0 3.0	0.30 0.50	-		
2         維持管理用機能の確保           2         新用性・信頼性		3.0	0.50	-	-	2.8
2.1 耐震·免震·制震·制振		3.0	0.50	-	-	2.0
1         耐震性(建物のこわれにくさ)           2         免震・制震・制振性能		3.0	0.20	•	-	
<ol> <li>部品-部材の耐用年数</li> <li>1 躯体材料の耐用年数</li> </ol>	住宅性能評価、劣化対策等級:等級3	5.0	0.20	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔 3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		2.0 2.0	0.20 0.10	-	-	
<ol> <li>4 空調換気ダクトの更新必要間隔</li> <li>5 空調・給排水配管の更新必要間隔</li> </ol>		3.0 3.0	0.10 0.20	:	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔 24 信頼性		2.0	0.20	-	-	
1         空調:換気設備           2         給排水:衛生設備		1.0 3.0	0.20 0.20	-	1	
3         電気設備           4         機械・配管支持方法		3.0 3.0	0.20 0.20	-	1	
5 通信·情報設備 3 对応性·更新性		3.0 3.0	0.20	- 3.3	- 1.00	3.2
3.1 空間のゆとり     1 階高のゆとり	階高:2.96m以上	3.0	1	3.6 4.0	0.50 0.60	
2 空間の形状・自由さ     3.2 荷重のゆとり		1.0 2.0	1	3.0 3.0	0.40	
		3.0 3.0	1.00 0.20	-	-	
2         給排水管の更新性           3         電気配線の更新性		3.0 3.0	0.20	-	-	
4         通信配線の更新性           5         設備機器の更新性		3.0 3.0	0.10		-	
		3.0	0.20	-	-	2.4
1 生物環境の保全と創出 2 まちなみ・景観への配慮		2.0 3.0	0.30	•	-	2.0
3 地域性・アメニティへの配慮		2.0	0.30	- 10	-	2.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上 3.2 敷地内温熱環境の向上		2.0 2.0	0.50 0.50	-	-	3.0
R 建築物の理境負荷低減性 11 エネルギー		-	- 0.40	-		
1 建物外皮の熱負荷抑制	住宅性能評価、断熱等性能等級:等級5			CONTRACTOR OF STREET,	-	4,3
2 自然エネルギー利用	for and for my . A	5.0 2.0	0.20	•	-	4 5.0 2.0
2 自然エネルギー利用 3 設備システムの高効率化 4 効率的運用	[BEI][BEIm] : 0.73		0.20	-		4 5.0 2.0 5.0
2 自然エネルギー利用           3 設備システムの高効率化           4 効率的運用           集合住宅以外の評価           4.1           モニタリング	(BE[](BEIm) : 0,73	2.0 5.0 3.0 -	0.20 0.10 0.50	-	-	4 5.0 2.0 5.0
2 自然エネルギー利用 3 数律シンテムの高効率化 4 <b>効率的面用</b> 株合住宅以外の評価 4.1 モニタリング 4.2 運用管理体制 集合住宅の評価	(BE[](BEIm): 0,73	2.0 5.0 3.0 - 2.0 3.0	0.20 0.10 0.50 0.20	-	-	4 5.0 2.0 5.0
2 自然エネルギー利用 3 設計システムの高効率化 4 加率的温用 集合性宅以外の評価 4.1 モニタリング 4.2 遅用管理体制 集合性宅の評価 4.1 モニタリング 4.2 遅用管理体制	(BE[](BEIm): 0,73	2.0 5.0 3.0 - 2.0	0.20 0.10 0.20 1.00 0.50 0.50	-		4.: 5.0 5.0 3.0
2 自然エネルギー利用 3 取得システムの高効率化 4 数年的温用 集合生宅以外の評価 4.1 モニタリング 4.2 逆用管理体制 集合生宅の評価 4.1 モニタリング	(BE[](BEIm): 0,73	2.0 5.0 - 2.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0	0.20 0.10 0.50 0.20 1.00 0.50 0.50 0.50 0.30 0.20		-	4.: 5.0 5.0 3.0
2 自然エキルギー利用 3 目前シスキルギー利用 4 加辛労選用 集合住宅以外の評価 4.1 モニタリング 4.2 運用管理体制 集合住宅の評価 4.1 モニタリング 4.2 運用管理体制 生会型・27 4.2 運用管理体制 2 資源・マテリアル 1.1 意水 1.1 意水 1.1 意水	(BE[](BEim): 0,73	2.0 5.0 - 2.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3	0.20 0.10 0.50 0.20 1.00 0.50 0.50 0.50 0.30 0.20 0.40 0.60			4. 5.1 2.1 5.1 3.1
2 自然エネルギー利用 3 目前システム 4 知辛労選用 集合住宅以外の評価 4.1 モニタリング 4.2 運用管理体制 集合住宅の評価 4.1 モニタリング 4.2 運用管理体制 生会リング 4.2 運用管理体制 2 資源・マテリア人 1.1 西水 1.2 雨水利用・建排水等の利用 1.1 雨水利用・建排水等の利用 1.1 雨水利用・建排水等の利用	(BE()(BE/m): 0,73	2.0 5.0 - - 2.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0	0.20 0.10 0.50 0.20 1.00 0.50 0.50 0.50 0.20 0.20 0.40		-	4.: 5.0 2.0 5.0 3.0 3.0
2 自然エネルギー利用 3 目前システムー発一利用 4 加辛的温用 集合住宅以外の評価 4.1 モニタリング 4.2 週用管理体制 2 資源・マテリア人 1.1 部水 1.1 部水 1.1 部水 1.2 耐水利用・這技水等の利用 1.1 耐水利用・這技水等の利用 2 選擇水利用に違抜水等の利用 2 選擇水利用に違抜水等の利用 2 選擇水利用に違抜水等の利用 2 選擇水利用に違抜水等の利用 2 選擇水利用に違抜水等の利用 3 開発利用システム導入の有無 2 講像水利用になった場別の有無 3 開発機能	(BE[](BEim): 0,73	2.0 5.0 3.0 - 2.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0	0.20 0.10 0.50 0.20 1.00 0.50 0.50 0.50 0.20 0.40 0.60 0.70		-	4.: 5.0 2.0 5.0 3.0 3.0
2 自然エネルギー利用 3 目前システムメーマ利用 4 加辛助温用 生、ショング 4.1 モニタリング 4.2 運用管理体制 集合住宅以好の評価 4.1 モニタリング 4.2 運用管理体制 集合住宅の評価 4.1 モニタリング 4.2 運用管理体制 2 調用管理体制 2 調用管理体制 1.1 面水 1.1 面水利用・包接水等の利用 2 調水等利用システム導入の有無 2 請水等利用システム導入の有無 2 読水等利用システム導入の有無 2 読み等利用システム導入の有無 2 読み等利用システム導入の有無 2 読み等利用システム導入の有無 2 読み等利用システム導入の有無 2 読み等利用システム導入の有無 2 読み等利用システム導入の有無 2 読み等利用システム導入の有無 2 読み等利用システム導入の有無 2 読み等利用システム導入の有無 2 読み等和 2 読みを読みの読ん使用 2 読みを読みの読ん使用	(BE()(BEIm): 0,73	2.0 5.0 3.0 - - 2.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3	0.20 0.10 0.50 0.20 1.00 0.50 0.50 0.50 0.50 0.20 0.40 0.60 0.30 0.60 0.30 0.60 0.11 0.22			4.: 5.0 2.0 5.0 3.0 3.0
2 自然エネルギー利用 3 目前シストルギー利用 4 加辛労選用 集合住宅以外の評価 4.1 モニタリング 4.2 運用管理体制 集合住宅の評価 4.1 モニタリング 4.2 運用管理体制 2 算量・マテリアノレ 1 西水利用・資油水等の利用 1 西水利用・資油水等の利用 1 西水利用・資油水等の利用 2 観察大利用・空油水子の有無 2 観察大利用・空油水子の有無 2 観察大利和におようの有無 2 観察大利和におようの有無 2 観察大利和におようの有無 2 観察大利和におようの有無 2 観察大利和におようの有無 2 観察大利和におようの有無 2 観察大利和におようの有無 2 観察大利和におようのすんの使用 24 駆除材料におようサイクル材の使用 24 駆除材料におようサイクル材の使用	(BEL)(BEIm): 0,73	2.0 5.0 3.0 - 2.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3	0.20 0.10 0.50 0.20 1.00 0.50 0.50 0.50 0.20 0.40 0.60 0.70 0.30 0.60 0.11		- - - - - - - - - - - - - - -	4.: 5.0 2.0 5.0 3.0 3.0
2 自然エネルギー利用 3 目前シストルギー利用 5 取録システムの高効率化 4 加辛助剤用 集合住宅以外の評価 4.1 モニタリング 4.2 運用管理体制 集合住宅の評価 4.1 モニタリング 4.2 週用管理体制 2 調用管理体制 2 調子等利用アンステム導入の有無 2 調子等利用アンステム導入の有無 2 調子等利用の方法でありずインル材の使用 24 駆体材料におけるリサインル材の使用 24 駆体材料におけるリサインル材の使用 25 前続可能な高校から産出された木材 26 前続可能な高校から産出された木材	BEU[/BEIm]: 0,73  -  -  - 二東床、二葉天井で姫体と設備の分離	2.0 5.0 3.0 - 2.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3	0.20 0.10 0.50 0.20 1.00 0.50 0.50 0.50 0.50 0.20 0.40 0.60 0.70 0.30 0.60 0.70 0.30 0.61 0.22 0.22 0.22			4. 5.( 2.( 5.( 3.) 3.( 3.)
2 自然エネルギー利用 3 目前システルドギー利用 3 設計システムの高効率化 4 加辛酸温用 集合住宅以外の評価 4.1 モニタリング 4.2 運用管理体制 集合住宅の評価 4.1 モニタリング 4.2 運用管理体制 4.2 運用管理体制 2 提用管理体制 2 提用管理体制 1. 雨水利用・直接水等の利用 1. 雨水利用・直接水等の利用 2 前来等利用システム導入の有無 2 載形本等の総統使用 2 載形本等の総統使用 2 載形本等の総統使用 2 読み生物にない方と違うたた本制 2 前林の東利用の能性向上への取組み 3 行動使意味料の使用 3 行動的意味料の使用 3 行動的意味料の使用 3 行動的意味料の使用 3 行動的意味料の使用 3 行動的意味料の使用 3 行動的意味料の使用		2.0 5.0 3.0 - - 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0	0.20 0.10 0.50 0.20 0.20 0.50 0.50 0.50 0.50 0.5			4. 5.( 2.( 5.( 3.) 3.( 3.)
2 自然エネルギー利用 3 目後システムの高効率化 4 加辛助温用 集合住宅以外の評価 4.1 モニタリング 4.2 運用管理体制 集合住宅の評価 4.1 モニタリング 4.2 運用管理体制 集合住宅の評価 4.1 モニタリング 4.2 運用管理体制 2 運用管理体制 2 運用管理体制 2 運用管理体制 1.1 面木 1.2 雨水利用・資捷水等の利用 1.1 雨水利用・資捷水等の利用 2 観味茶利用・資捷水等の利用 2 観味茶利用・資捷水等の利用 2 観味茶利用のステム環入の有無 2 観味茶利用のステム環入の有無 2 観味茶利印のシステム環入の有無 2 観味茶利印のシステム環入の有無 2 観味茶利印のテムの素の有 2 観味茶利印のたいろい、 3 列始の再利用可能性向上への取組み 3 内容物質を含まない材料の使用 3.1 有言物資産を含まない材料の使用 3.1 有言物		2.0 5.0 3.0 - + 2.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3	0.20 0.10 0.50 0.20 0.20 0.50 0.50 0.50 0.50 0.30 0.20 0.30 0.70 0.30 0.22 0.22 0.22 0.22 0.22 0.22 0.2		-	4. 5.( 2.( 5.( 3.) 3.( 3.)
2 自然エネルギー利用 3 目前シストルギー利用 3 目前シストルギー利用 4 加辛助温用 集合住宅以外の評価 4.1 モニタリング 4.2 運用管理体制 集合住宅の評価 4.1 モニタリング 4.2 運用管理体制 集合住宅の評価 4.1 モニタリング 4.2 運用管理体制 2 提系で子リア人 1.2 間水利用・環境水等の利用 1.1 間水利用・環境水等の利用 1.2 間水利用・環境水等の利用 2 提移学利用システム導入の有無 2 現体学和レステム導入の有無 2 現体学和レステム導入の有無 2 現体学和レステム導入の有無 2 現体学和レステム導入の有無 2 現体学和レステム導入の有無 2 現体学和レステム導入の有無 2 現体学和レステム導入の有無 2 現体学和レステム導入の有無 3 内容機定量が計の使用量の 5 時続可能な直体から虚出された木材 3 内容機定量が計の使用面積 5 日続可能な直体がの使用面積 5 日続可能な直体がの使用面積 5 日続可能な直体がの使用面積 5 月続可能な直体がの使用面積 5 月続可能が構成である。 5 月余振		2.0 5.0 3.0 - - 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0	0,20 0,10 0,50 0,20 0,20 0,50 0,50 0,50 0,50 0,5			4.: 5.( 5.( 3.) 3.( 3.) 3.( 3.) 3.( 3.)
2 自然エネルギー利用 3 設計システムの高効率化 4 加辛助温用 集合住宅以外の評価 4.1 モニタリング 4.2 運用管理体制 集合住宅の評価 4.1 モニタリング 4.2 運用管理体制 集合住宅の評価 4.1 モニタリング 4.2 運用管理体制 2 読品ですプリアル 1. 潤水利用・症徒水等の利用 1. 潤水利用・症徒水等の利用 1. 潤水利用・症徒水等の利用 2 読ん学利用システム導入の有無 2 読ん学利用システム導入の有無 2 読ん学利用システム導入の有無 2 読ん学利用システム導入の有無 2 読ん学利用システム導入の有無 2 読ん学利用システム導入の有無 2 読ん学利用システム導入の有無 2 読ん学利用システム導入の有無 2 読ん学利用システム導入の有無 3 読ん学科和以におけるリサイクル材の使用 3 対応考慮者が動の使用圏通 1 消火州 2 表泡利(切読材率) 3 読ん学スを読ん 5 か続 3 読ん学スを読ん 5 からに 5 からのに 5 からに 5 からい 5 からに 5 からい 5 からした 5 からに 5 からに 5 からに 5 からに 5 からい 5 からい 5 からに 5 からい 5 からに 5 からい 5 からに 5 からに 5 からい 5 か		2.0 5.0 3.0 - - 2.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3	0,20 0,10 0,50 0,50 0,20 1,00 0,50 0,50 0,50 0,40 0,40 0,60 0,40 0,40 0,40 0,40 0,4			4.: 5.( 5.( 5.( 3.( 3.( 3.( 3.( 3.( 3.( 3.( 3.( 3.( 3
2 自然エネルギー利用 3 目前システムルギー利用 4 加辛助温用 5 目前システムスタスの高効年化 4 加辛助温用 5 目前システムスタスの高効年化 4 加辛助温用 5 目前システムスタスの有価 2 提用管理体制 集合住宅の評価 4.1 モニクリング 4.2 遅用管理体制 集合住宅の評価 1.1 面水 1.2 面水利用・電捷水等の利用 1.2 面水利用・電捷水等の利用 2 提前未等利用システムスタスの有価 2 読みませたまれ 1.1 面水利用・電捷水等の利用 2 読みませたまれ 2 目前本目面の利減 2 読みませたまれ 2 目前本目面の利減 2 読みませたまれ 5 目前本の正式目示の設置 1 消音の使用量 2 読みたての影響 3 分娩を加重量 1 消音の使用目可能性面上への取組 3 分娩を加重量 1 消子の影響を含まい材料の使用 3 フロン・ハロンの回量 1 消子の影響を含まい材料の使用 3 分娩 2 最近れ「低熱利 5 目前本の正式目示 5 日本の一面 5 日本の正式目示 5 日本の正式 5 日本の正式目示 5 日本の正式 5 日本の 5 日本の 5 日本の正式 5 日本の 5		2.0 5.0 3.0 - 2.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3	0,20 0,10 0,50 0,20 1,00 0,50 0,50 0,50 0,30 0,60 0,60 0,70 0,30 0,60 0,60 0,70 0,30 0,60 0,70 0,22 0,22 0,22 0,22 0,22 0,22 0,2			4. 5.1 5.1 5.1 3.1 3.1 3.1 3.1 3.1 3.1 3.1 4.1 4.1
2 自然スキルギー利用 3 設計システムの高効率化 4 加辛助温用 集合住宅以外の評価 4.1 モニタリング 4.2 運用管理体制 集合住宅の評価 4.2 運用管理体制 集合住宅の評価 4.2 運用管理体制 4.2 運用管理体制 2 提圖・マテリア/ 4.2 運用管理体制 2 提圖・マテリア/ 4.2 運用管理体制 2 提圖・マテリア/ 1. 雨水利用・直接水等の利用 1. 雨水利用・空、方、公園、の有無 2 現本零利用システム湯入の有無 2 現本零利用システム湯入の有無 2 現本零利用システム湯入の有無 2 現本零利用システム湯入の有無 2 現本零利用システム湯入の有無 2 現本零利用システム湯入の有無 2 現本零利用システム湯入の有無 3 読み零利用のクルはの使用 3 打場影者の経動空きれたな利 1 清火剤 3 試過分入環境 1 清火剤 1 清火剤 2 建築理体への配量 2 試量を入電院的上 2 試量の表示数量の		2.0 6.0 3.0 - - 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0	0.20 0.10 0.50 0.20 0.20 0.20 0.50 0.50 0.50 0.40 0.40 0.40 0.40 0.4			4. 5.1 5.1 5.1 3.1 3.1 3.1 3.1 3.1 3.1 3.1 4.1 4.1
2 自然スキルギー利用 3 目前システルドギー利用 3 目前システムシステート 4 加辛酸温用 集合住宅以外の資価 4.1 モニタリング 4.2 運用管理体制 集合住宅の評価 4.1 モニタリング 4.2 運用管理体制 2 第四・マテリア人 4.2 運用管理体制 2 第四・マテリア人 1. 南水利用・直接水等の利用 1. 南水利用・直接水等の利用 2 第日本学校工業のの使用量利 2 諸水等和同心は、中国の利減 2 読み等和用ンステム導入の有無 2 読み等和用ンステム導入の有無 2 読み等和用ンステム導入の有無 2 読み等和のとな場外の 2 読み着料の使用量 3 7時金貨素が料の使用 3 7時低 2 1 月水湯水気管低速 2 1 大泉汚染的止 2 1 元素汚染的止 2 1 元素汚染的止 2 1 元素汚染的止 2 1 元素汚染的止		2.0 6.0 3.0 - - 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0	0.20 0.10 0.50 0.20 0.20 0.20 0.50 0.50 0.50 0.30 0.60 0.70 0.30 0.60 0.70 0.30 0.60 0.70 0.30 0.40 0.40 0.40 0.40 0.40 0.50 0.40 0.50 0.40 0.50 0.5			4. 5.1 5.1 5.1 3.1 3.1 3.1 3.1 3.1 3.1 3.1 4.1 4.1
2 自然スキルギー利用 3 目前シスキルギー利用 3 目前シスキルギー利用 4 加辛助温用 集合住宅以外の背面 4.1 モニタリング 4.2 運用管理体制 集合住宅の評価 4.2 運用管理体制 4.2 運用管理体制 4.2 運用管理体制 4.2 運用管理体制 1.1 西水 1.1 西水 2.1 付料使用量の利用 2.1 付料使用量の利用 2.1 付料使用面を記水の表示の表示の表示の 2.1 付料使用面を記水の表示の 2.1 付料使用面を記水の表示の 2.1 付料使用面を記水の表示の 2.1 付料使用面を記水の表示の 2.1 付料使用面を記水の表示の 2.1 付料使用面を記水の表示の 2.1 付料使用面を記水の表示の 2.1 付料使用面を記水の表示の 2.1 付料使用面を記水のの 2.1 付料使用面を記水の 2.1 付料使用の 2.2 時水利用の 2.1 付料使用面を記水の 2.1 付料使用 2.2 時水利用の 2.1 付料使用 2.2 時水利用の 2.1 付料使用 2.1 付料使用 2.2 時水利用の 2.1 付料使用 2.2 時水利用の 2.1 付料使用 2.2 時水利用の 2.2 時水利用の 2.1 付料使用 2.1 付料使用 2.1 付料使用 2.1 付料使用 2.1 付料使用 2.2 時水利用の 2.2 時水利用 2.2 時水利用の 2.2 時水利用の 2.2 時水利用の 2.2 市水利用 2.2 時水利の 2.2 市水利用 2.2 時水利の 2.2 市水利用 2.2 市水利用 2.2 市水利用 2.2 市水利用 2.2 地水利の 2.2 西水利用 2.2 地水利の 2.2 地水利の 2.2 地水利の 2.2 地水利の 2.2 地水利和 2.2 地水利の 2.2 地水利の 2.2 地水利の 2.2 地水利 2.2 地水利和の 2.2 地水利の 2.2 地水和 2.2 地水和 2.2 地水和 2.2 地水和 2.2 地水和 3.2 市 3.2		2.0 5.0 5.0 5.0 5.0 5.0 5.0 5.0 5.0 5.0 5	0.20 0.10 0.50 0.20 0.20 0.20 0.50 0.50 0.40 0.40 0.40 0.40 0.40 0.4			4. 5.1 5.1 5.1 3.1 3.1 3.1 3.1 3.1 3.1 3.1 4.1 4.1
2 自然エネルギー利用           3 時濃ンスクムの高効率化           4 加辛労選用           第会と生い外の評価           4.1 モニタリング           4.2 運用管理体制           集合住宅以外の評価           4.1 モニタリング           4.2 運用管理体制           集合住宅の評価           1.1 モニタリング           4.2 運用管理体制           2 調正常なアラリング           1.1 モニタリング           1.1 モニタリング           4.2 運用管理体制           2 調正常な中のレーク・シング           1.1 市水           1.2 雨水利用・電技水等の利用           2 課長本利用・空長水等の利用           2 課長本等のとたの大ム湯入の有無           2 読ん不利用・空行・クスム湯入の有無           2 読ん不利用の内面信性の上への利用の有価           2 現体材料におけるリヤクルポクの用           2 現体材料におけるリヤクルポクル構成 用           2 現体材料におけるリヤクルパクル成 用           2 現体材料におけるリヤクルパクル成 用           2 現な材料におけるリヤクルパクル成 用           2 日、水気気気の使用量調査を含まない料料の使使用           2 うないの事約回答を含まない料料の使用           3 予修証           3 予修正           3 予修正           3 力能な見名への配           2 地球型長への配置           2 したりた気気           2 したりた気気動加           1 市気防災費を含まない料料の使用           2 気気気気動加           1 大気気気気           2 気気気気動加           2		2.0 5.0 5.0 3.0 - 2.0 3.0 3.0 - 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0	0.20 0.10 0.50 0.20 - - - - - - - - - - - - - - - - - - -			4.: 5.( 5.( 3.( 3.( 3.( 3.( 3.( 3.( 3.( 3.( 3.( 3
2 自然エネルギー利用           3 目後システムの高効率化           4 加辛助温用           4.1 モニタリング           4.1 モニタリング           4.2 運用管理体制           集合住宅以外の評価           4.1 モニタリング           4.2 運用管理体制           集合住宅以外の評価           4.1 モニタリング           4.2 運用管理体制           集合住宅の評価           1.1 モニタリング           4.2 運用管理体制           2 資源不可デリアル           1.1 電売利用・電技水等の利用           1.1 電水利用・電技水等の利用           2 資源大管用量の利用           2 現体球球目においるリャクストム環入の有無           2 現体球球目においるリャクストムス環入の有無           2 現体球球目においるリャクストムス環入の有無           2 現体球球目においるリャクストムス、マスの有無           2 現体球球目においるリャクストムの実施           2 現体球球目においるリャククルはの使用           2 現地球型化のの理想の           3 方地球型化のの配量           1.1 清次規構           2 地球化への配置           2 地球化・ンフラへの食育時制           1 一環水振発気質低調制           2 汚球原助止           2 地球化・ンフラへの食育時制           1 一環未熟し気質問制           1 小球型化への配置           2 地球化・ンフラへの食育時制           1 一環未熟し気質問制           2 汚球の理貨質問制           3 完全人の配置           2 地球型化・の配置           2 地球型化への配置		2.0 6.0 5.0 - 2.0 3.0 - 2.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3	0.20 0.10 0.50 0.20 0.50 0.50 0.50 0.50 0.40 0.50 0.40 0.40 0.40 0.40 0.40 0.40 0.40 0.40 0.40 0.40 0.40 0.40 0.40 0.40 0.50 0.20 0.40 0.50 0.20 0.40 0.50 0.20 0.40 0.50 0.20 0.40 0.50 0.20 0.40 0.50 0.20 0.40 0.50 0.20 0.40 0.50 0.20 0.40 0.50 0.20 0.40 0.50 0.20 0.40 0.50 0.20 0.40 0.50 0.20 0.40 0.50 0.20 0.40 0.50 0.20 0.40 0.50 0.20 0.40 0.50 0.20 0.20 0.22 0.22 0.22 0.22 0.22 0.50 0.50 0.50 0.50 0.50 0.50 0.50 0.50 0.40 0.50 0.50 0.40 0.50 0.50 0.20 0.20 0.20 0.20 0.22 0.22 0.22 0.22 0.50 0.33 0.25 0.33 0.25 0.33 0.25 0.25 0.35 0.33 0.25 0.25 0.25 0.35 0.33 0.25 0.25 0.25 0.35 0.35 0.35 0.25 0.25 0.35 0.35 0.35 0.25 0.25 0.25 0.35 0.35 0.55 0			4.: 5.( 5.( 3.( 3.( 3.( 3.( 3.( 3.( 3.( 3.( 3.( 3
2 自然エネルギー利用           3 時後ンテスクムの高効率化           4 加辛労選用           第会と生いみの高効率化           4 加辛労選用           第会と生いりのデ           4.1 モニクリング           4.2 運用管理体制           集合住宅以外の評価           4.1 モニクリング           4.2 運用管理体制           集合住宅の評価           1.1 モニクリング           4.2 運用管理体制           東会住宅の評価           1.1 モニクリング           4.2 運用管理体制           東京市東京都           1.1 電力           1.2 間水不利用・電技水等の利用           2 課事業の使用量新           2 課事業の使用量の削減           2 課事業電子の優先の変換           2 現存建築型体の優先の業           2 現存建築型体の優先の業           2 朝地球市の市地住向上への取組み           3 方地構成合作用量の削減           1 有害物気を含まない材料の使用           2 動地域での使用量           1 有害物気を含まない材料の使用           3 方地装置を含むい材料の使用           3 方地装置を含むい材料の           3 方能           3 方地支通行の使用量の制           1 有害物気を含まない利用の使用           2 地域化ペの配置           2 地域化ペの配置 </td <td></td> <td>2.0 5.0 5.0 3.0 2.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3</td> <td>0.20 0.10 0.50 0.20 </td> <td></td> <td></td> <td>4.: 5.( 5.( 3.( 3.( 3.( 3.( 3.( 3.( 3.( 3.( 3.( 3</td>		2.0 5.0 5.0 3.0 2.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3	0.20 0.10 0.50 0.20 			4.: 5.( 5.( 3.( 3.( 3.( 3.( 3.( 3.( 3.( 3.( 3.( 3
2 自然ストルギー利用           3 野谷ノスクムの高効率化           4 加辛労取用           4.1 モニクリング           4.1 モニクリング           4.2 運用管理体制           集合住宅以外の評価           4.1 モニクリング           4.2 運用管理体制           集合住宅以所価           4.1 モニクリング           4.2 運用管理体制           集合住宅の評価           1.1 モニクリング           4.2 運用管理体制           東京東東原電           1.1 電の少用           2 調査事業的の使用量新設           2.1 和料使用量の削減           2.2 販売車監急れたおやの           2.1 和料使用量の削減           2.2 販売車監急れたおやの利用           2.3 販売株利料におおと3リヤイクル材の使用           2.3 既存載日本のの構成           2.1 和料使用型の合用運動性協上への取組み           3 予急等度含素材の利用の間を性協上への取組み           3 予急等度含素化の料料の使用           3.1 考言物資意を含まない材料の使用           3.1 考古動資素を含定い利料の           1 一調水換集免費用           1 二調水換集免費用           2 急強用(団協教科)           3 力会資源           3 力会資源           1 二調水換集免費用           2 急強用           3 力会の回動           3 大会費           3 大会資源の開出           1 一調大換集免費           2 急強調査           3 力会資源回動           3 大会費		2.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3	0.20 0.10 0.50 0.20 - - - - - - - - - - - - - - - - - - -			3.: 3.: 3.: 3.: 3.: 3.: 3.:
2 自然スキル・ギー利用 3 目前システム・ボー利用 4 1 目この高効年化 4 2 中部国用 集合住宅以外の資価 4.1 目このリング 4.2 運用管理体制 集合住宅以外の厚価 4.1 目このリング 4.2 運用管理体制 集合住宅以外の厚価 4.1 目このリング 4.2 運用管理体制 4.2 国常理体制 5.2 国常生体制 5.2 国常生体和原体の利用 5.2 国常生体和原体の利用 5.2 国常生体和原体の利用 5.2 国常生体の砂璃 5.2 国常生体の砂璃 5.2 国常生体の砂璃 5.2 国常生体の砂璃 5.2 国常生体の砂璃 5.3 国常生体の砂璃 5.3 国常生体の砂璃 5.3 国常生素の同能体 5.3 副ないのと思 5.3 国常生態のと認知 5.3 国常生態の主体の電影 5.3 電気の電影 5.3 電気の電影 5.3 国常生態の影材等) 5.3 国常生態の影材等) 5.3 国常生態の多に 5.3 国常生態の多に 5.3 国常生態の多に 5.3 国常生態の多に 5.3 国家体系の 5.		2.0 5.0 5.0 5.0 5.0 5.0 5.0 5.0 5.0 5.0 5	0.20 0.10 0.50 0.20 			4.: 5.( 5.( 3.( 3.( 3.( 3.( 3.( 3.( 3.( 3.( 3.( 3

・適宜、箇条書き等で記入してください。

印刷:モノクロ 設定済み

・キーボード操作:改行の際は【Alt】キー&【Enter】キーで次の行に進みます。

	計画上の配慮事項	※必ず、何らかのコメントを記入してください。
総合	室内環境やサービス性能に配慮し、環境品 また住宅性能評価 断熱基準等級5を満たし	
Q1 室内環境	<ul> <li>・建物内装材全てにF☆☆☆☆を使用した計</li> <li>・全居室窓面にカーテンレール下地を設置し</li> </ul>	
Q2 サ <b>ー</b> ビス性能	<ul> <li>・給水・排水管を躯体へ打設無し、躯体を傷</li> <li>・劣化対策等級(構造躯体等)の等級3の基準</li> <li>上げを考慮</li> </ul>	めず設備の更新・修繕が出来る 準で構造躯体を設計し、基準躯体耐用年数の引き
Q3 室外環境 (敷地内)	出来る限り敷地内に植栽帯を設けた。	
LR1 エネルギ <del>ー</del>	断熱性の高い材料の採用と高効率設備の	
LR2 資源・マテリアル	ノンフロン断熱材を使用し、汚染物質含有材	
LR3 敷地外環境	駐車場の出入り口を商店街方向を避け、北(	則道路面とした。
その他		

#### 熊本県重点評価結果 スコアシート ※手動入力は不要

実施設計段階

建物名称 (仮称)熊本市中央区上通町計画新築工事

■評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v3.0)

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版

熊本県重点評価結果						総合評価点		
重	重点事項					重点事項		
	重点項目(配慮項目)		スコア	重み 係数	評価点	重み係数	評価配点	
1	温室効果ガス	排出量削減の推進	$\square$	$\nearrow$				
	Q1-2.1.2	外皮性能	3.7	0.05			36.04	
	Q1-3.1.3	<b>昼光利用設備</b>	3.0	0.05		0.40		
	Q1-3.2.1	<b>昼光制御</b>	2.4	0.05	1			
	LR1-1	建物外皮の熱負荷抑制	5.0	0.15	90.1			
	LR1-2	自然エネルギー利用	2.0	0.20				
	LR1-3	設備システムの高効率化	5.0	0.30				
	LR2-2.1	材料使用量の削減	2.0	0.10				
	LR3-2.3.3	交通負荷抑制	3.0	0.10	1			
2	安全安心で暮	らしやすい社会の実現	$\square$	$\square$	- 58.7	0.20	11.74	
	Q2-1.1.3	バリアフリー計画	3.0	0.25				
	Q2-2.1.1	耐震性	3.0	0.25				
	Q3-1	生物環境の保全と創出	2.0	0.15				
	Q3 <b>-</b> 3	地域性・アメニティへの配慮	2.0	0.20				
	LR3-2.2	温熱環境悪化の改善	1.0	0.15				
3	県の地域資源	の有効活用と保全						
	Q3-2	まちなみ・景観への配慮	3.0	0.29		0.20	15.00	
	LR2-1.1	節水	3.0	0 <u>.</u> 43	75			
	LR2-1.2.1	雨水利用システム導入	3.0	0.29	-			
	LR2-2.5	持続可能な森林から産出された木材	0.0	0.00				
4	循環型社会の		$\square$	$\square$		0.20		
	Q2-2.2	部品・部材の耐用年数	2.9	0.30	75.7			
	Q2-3	対応性▪更新性	3.2	0 <u>.</u> 30			15.14	
	LR2-2.2	既存建築躯体等の継続使用	3.0	0.10	/5./		10.14	
	LR2-2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	3.0	0.15				
	LR2-2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	3.0	0.15				

#### ■評価点算出式

評価点は、以下の方法により算出しています。

◆総合評価結果

総合評価点 = (各重点事項の評価点×各重点事項の重み係数)の総和

※重み係数の総和は、「1」であること。

◆各重点事項(①~④の項目)

評価点 = (各重点項目のスコア×各重点項目の重み係数)の総和×(5/4)×20 ※重み係数の総和は、「1」であること。

※(5/4)×20:スコア4点を評価点100点に変換するスケーリング定数